

ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局
VOL46 平成18年5月



小田 貢 日野原重明先生 堀田 力先生 入江 伸二氏

がいなフォーラム 盛会に終わる

平成18年4月9日(日)米子助け愛がいなネット(理事長 小田 貢)主催、「新老人の会」鳥取支部共催で、がいなフォーラムが米子コンベンションセンター (BiG ShiP) で開催されました。がいなフォーラムは、約1800人のお客様を迎え盛会に終わりました。

がいなフォーラムの午前の部では、「助け合いの社会を具現化するネットワーク作りの現状と将来」について、以下のパネリストの発表によりシンポジウムが行われました。

- 1) 子どもとの関わりの中かで居場所作りを目指すネットワークの現状と将来
チルネット代表 / 米子市子ども地域活動支援事業実行委員会 委員長 ト蔵 久子氏
- 2) 少子高齢化を支える地域福祉の現状と将来
米子市美保地域包括支援センター主任ケアマネージャー 小山 雅美氏
- 3) 障害者を支える現状と将来
NPO ひまわり倶楽部 理事長 曾根 節男氏
- 4) 社会のセーフティーネットとしての包括的ネットワークの現状と将来
がいなネット理事長 小田 貢氏



ホスピタウン代表
医療法人 真誠会
理事長 小田 貢

午後の部では、以下の先生による基調講演と特別講演が行われました。

【基調講演】堀田 力先生 (財団法人さわやか福祉財団 理事長)

演題:「みんなでつくるふれあいのまち」

【特別講演】日野原 重明先生 (聖路加国際病院理事長、「新老人の会」会長)

演題:「ボランティアに期待される新しい発想 -ペイ・ツー・フォワード Pay to Forward -」

お二人共通の内容は、助け合って生きることの大切さ、ボランティアの新しいあり方でした。日野原先生は、ボランティアは新しい出会い、新しい自分の発見になるということ、また、うつぶせ寝健康法についてお話しになりました。お二人がそろって講演をされることは今回が初めてでしたので、参加された皆さんは日本で初めて、お二人の講演を同時に聴くことが出来たと思います。

フィナーレでは、ボランティアとして参加したゴスペルオーブの皆さん、そして障害者の皆さんも舞台上上がり、日野原先生の指揮で、会場の皆さんと一緒に「ふるさと」を歌って感動のうちに閉会となりました。

がいなフォーラムの一部は、同日、日野原先生を密着取材した、テレビ東京の番組で日野原先生のうつぶせ寝健康法のコーナーに続いて、全国放映にて紹介されました。

今回のがいなフォーラムは、がいなネット主催ではありませんでしたが、フォーラム当日は、真誠会のボランティアスタッフ約70人による支援で行うことが出来ました。真誠会は今後も引き続き、がいなネットをはじめ、ボランティア活動を支援して行きたいと思っております。



通所介護弓浜ゆうとびあ (認知症対応型) 「ふくろうの里」(米子市大崎) 平成 18 年 3 月 1 日開所

弓浜ホスピタウン内に新たに脳活性クラブ「ふくろうの里」を始めました。この「ふくろうの里」のイメージは森の中で、森林浴、鳥のさえずりなどによって認知症の方を癒す場所です。

また、マスコットは幸福を呼ぶ「ふくろう」で、「ふくろうのフクちゃん」が皆様をお待ちしております。



「ふくろうの里」に新しいマスコット

ミンミンとヨンヨンによる 「チャボ療法」



ふくろうの里に来たチャボの名前は
オスは・・・ミンミン
メスは・・・ヨンヨン
中国風の名前をつけました。

平成 18 年 4 月 28 日、ふくろうの里にチャボのつがい came. つがいのチャボは中庭で放し飼いになっており、時々鳴いています。チャボの鳴き声は中庭に良く響き、2 階、3 階にも鳴き声が届きます。その声はまるで、森の中でオウムが鳴いているようです。

昔は、たくさんのお家でニワトリを飼っており、その卵はとても珍重され、最高のおかずとして使われたものです。しかし、最近は卵を見て、食べることはあってもニワトリを見たり、鳴き声を聞くことも珍しくなりました。

チャボのつがいはとても仲が良く、いつも二羽がくっついて歩いており、とても微笑ましく思えます。

通所の利用者の皆さんも、昔自分の家でニワトリを飼っていたことの思い出話をされた



り、チャボのかわいい動きを見ては、とても喜んでおられます。これからチャボは、たくさんの人にかわいがられると思います。いわゆる「チャボ療法」ですね。





認知症対応型通所デイサービス 脳活性クラブ米子真誠会 「童謡の里 オルゴール館」(米子市河崎) 平成 18 年 5 月 1 日開所



平成 18 年 5 月 1 日より、米子ホスピタウンの旧ホスピタウン保育園の建物を使って、脳活性クラブ米子真誠会「童謡の里 オルゴール館」が開所しました。「童謡の里」では童謡、唱歌で認知症の皆さんを癒し、また、一角に設けた「オルゴール館」には、約 50 のオルゴールが収集されております



ので、このオルゴールを使って、オルゴール療法を行う予定です。

さらに、思い出の鉄道コーナーがあり、D-51 のナンバープレートをはじめとする鉄道グッズが展示してあります。将来はもっとコレクションを増やし、「鉄道館」にしたいと思っております。

また、従来の「回想療法」ではなく、実際になるべく沢山の機会に昔の生活を再現できる「実体験回想」を試みたいと思います。そこでは、従業員はケアをするというより、高齢者の皆さんと一緒に過去の世界に帰っていくというイメージで、心を一つに出来る環境にしたいと思います。

なお、この「童謡の里」では近所のお子さんにも遊びに来てもらい、一緒に童謡や唱歌を歌ったり、オルゴールを聴いたり、鉄道模型で遊んだり、高齢者との心のふれあいの時間をもち、同時に、お子さんの情操教育に役立つことを企画しております。



童謡の里 オルゴール館の開所式が 5 月 1 日行われました。開所式の後のイベントとして、急遽ボランティアで、「うりずん」のけいさんに来ていただき、童謡を歌っていただきました。けいさんが歌い始めると、皆さんもいっしょに歌い始められました。これが童謡の魅力なのでしょうか。認知症の方も懐かしんで歌っておられました。

ゴスペルオーブの小徳さんもメンバー 7 人と一緒に駆けつけてくださいました。最後の二曲は、ゴスペルオーブさんも飛び入り参加で加わり歌っていただきました。躍動感のある歌いかたで、だれも手拍子で喜んでおられました。けいさんとゴスペルオーブさんのコラボレーションによるミニコンサートで楽しい時間が過ごせました。

生の演奏、生の歌声は比較にならないほどの迫力と感動があります。高齢者の皆さん、認知症の皆さんにとってすばらしい精神的な効果が得られたのではないのでしょうか。





美保小規模多機能センター（仮称）

「ふる里」（米子市和田町）

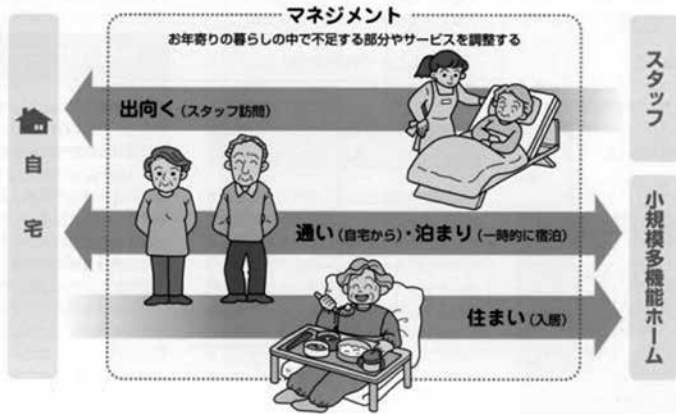
平成 18 年 8 月 1 日開所予定

平成 18 年 8 月には和田町にある旧農協事務所に、「美保小規模多機能センター（仮称）」が出来ます。愛称は、「ふる里」にしようと考えております。建物の外見は土蔵建築のイメージで改装中です。

この小規模多機能センターは、地元の皆さんと一緒に作り上げて、一緒になって運営して行きたいと思えます。単に、認知症のデイサービスだけではなく、各種の高齢者対策の活動、健康管理など文字通り多機能

なことが予定されています。ここでは、年間 3 回から 4 回の健康講座が開かれるほか、介護に関する相談などを随時受けることができるようになっております。認知症の方がお望みになれば、6 名までは泊まることも出来ます。いわゆる、美保地区の“高齢問題に関する何でも相談所”のような場になりそうです。

「ふる里」のマスコットはタヌキです。どのようなものができるか、楽しみにしててください。



小規模多機能型居宅介護の 特色とメリット

～住み慣れた地域で、最後まで暮らしたい～

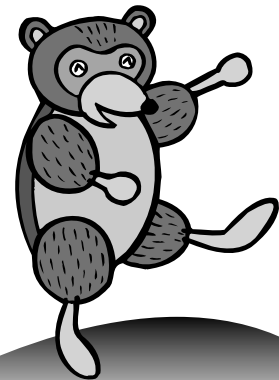
平成 18 年 4 月から大きく変わる介護保険の目玉として、「小規模多機能型居宅介護」が導入されました。

小規模多機能施設は、利用者本人にとっては、自分の住んでいたところから遠く離れた施設に入所するのではなく、住み慣れた地域で暮らし続けることができ、また、日頃から通い慣れたなじみの環境、なじみの人間関係の中で住まうことができるというメリットがあります。

「通い」（デイサービス）を中心として、要介護者の様態や希望、随時「訪問」や「泊まり」（ショートステイ）や自宅への「訪問」（ホームヘルプ）を組み合わせることで、在宅での生活継続を支援いたします。



事業内容	定員
小規模多機能事業（通い）	15 名
小規模多機能事業（泊まり）	6 名
24 時間地域夜間訪問介護事業	



訪問看護ステーション ネットケア 誕生 10 周年



平成 18 年 6 月 1 日で訪問看護ステーション ネットケアは 10 周年を迎えます。

思い返せば、開所当初は、ステーションの設立、運営の経験者がおらず手探りで設立の作業に取り掛かりました。

ステーションの建物は、新築すると申請に間に合わないため、大変困っておりました。しかしある日、大山をドライブ中にアメリカ製のトレーラーハウスを売っていたのでそれを急遽買い求め、訪問看護ステーションとして開所しました。訪問看護ステーションで、トレーラーハウスは日本で唯一、「ネットケア」だけだと思います。ですからネットケアの下にはタイヤがついていて、いつでもトレーラーで移動できるのです。

幸い、このトレーラーハウスは外から見てもかわいいし、内装もコンパクトなので、手狭にもかかわらずスタッフに愛着を持たれております。

ネットケア開所当時はまだ、インターネットが発達しておらず、ネットワークという概念が少なかったのですが、ネットワークを利用してケアをするという理念で、小田理事長が造語的に考え、つけた名前でした。

しかしながら、平成 7 年にはインターネットでは見られなかった「ネットケア」という言葉が、平成 18 年 4 月現在ではインターネットでたくさん見られるようになりました。

現在では、ネットケアはスタッフの数、訪問件数ともに米子市のエリアでは上位の訪問看護ステーションとして信頼も受けています。鳥取大学医学部附属病院をはじめ、たくさんの医療機関から紹介を受け、重症患者、ターミナルケアなど多岐に渡って在宅看護のニーズに応じられるようになっております。

今後もますます、在宅医療が大切になっていく情勢にありますので、新たなニーズに答え、高いレベルの訪問看護ができるステーションを目指して参ります。



将来は真誠会でお花見を

昨年、真誠会セントラルクリニックに植えた大きな二本の還暦桜は、残念ながら移植した年でしたので桜の花は殆ど咲きませんでした。そのために、本当に染井吉野かどうかさえ、疑わしかったのですが…(>_<)。

今年は真誠会セントラルクリニック前の駐車場に 8 本の若い染井吉野が植えられました。今年はチラリホラリとしか咲きませんでしたが、これから年々ぐんぐん成長して、毎年、美しい桜の花を咲かせると思います (^▽^)。

そして、毎年これらの桜が患者さんや近所のみなさんに、希望と勇気、生きる元気を与え続けてくれることを願っています。

これで、真誠会の施設すべて、米子ホスピタウン、弓浜ホスピタウン、富益にある在宅福祉センター真誠会で桜の木を植えることが出来ました。真誠会の桜は 10 年後には名所とまではいなくても、地域の方々が楽しめる、花見の場所になってほしいと思います。

皆像はじめまして!



真誠会
セントラルクリニック
看護師長 村上 信子

このたび 4 月 1 日よりの新人研修を終えて、真誠会セントラルクリニックの看護師長として着任いたしました。いきなりの大役をいただきまして、慣れない環境、慣れない仕事に苦戦の毎日ですが、その都度真誠会グループの皆様の暖かい言葉かけをいただきまして何度も救われた気持ちになりました。

まだ走り出したばかりの私ですが、「人々に愛される病院」「地域に愛される病院」を目指し「看護の質の向上」をはかって行きたいと思っております。

気持ちをひきしめて一歩一歩前進していきたいと思いますのでどうぞよろしくおねがいいたします。



請所では、毎日患者さんの病態に関するミーティングが行われ、熱が入ります!



辻田耳鼻咽喉科



辻田耳鼻咽喉科
院長 辻田 哲朗

ダ・ヴィンチ・コード



この号が出る頃には、ダ・ヴィンチ・コードという映画が封切られているかと思ひます。これは、世界的ベストセラーとなったダン・ブラウンの同名の小説を映画化したものです。ボクもこの小説は久しぶりにワクワクしながら一気に読んでしまいました。なんせ、取り扱っているテーマがキリスト教というより、イエス・キリストにまつわる重大な秘密についてでしたから。半分フィクションだと知りながらも、思わず小説の世界にのめり込んで行きました。さて、その秘密とは何だったのでしょうか？それは、映画を見ての、あるいは小説を読んだのお楽しみです。

ところで、ボクは昔、とくに学生の頃は小説が好きで、片っ端から小説を読んでいたものでした。それで、高校時代は最初の志望は、医学部じゃなくて文学部でした。とくに小説家では太宰治にのめり込んでいました。太宰の作品はほとんど読んだと思ひます。また、トルストイやドストエフスキーの小説なんかも読みましたが、なんせやたら長い登場人物を覚えるのに一苦労でした。それで読んだと言う記憶は残っていても、どんな内容だったかは今ではほとんど思い出せません。そして今では、悲しいかな年取ってくると感受性が乏しくなって本は読むことはあっても、ノンフィクションとかハウツー物などの実用的なものしか読まなくなりました。それでもハリー・ポッターは小説の方が映画より何倍も面白かったです。

さて、ダ・ヴィンチ・コードです。当然この中では、あのレオナルド・ダ・ヴィンチが残した絵が謎を解くキーワードになってきます。でもこのダ・ヴィンチという人は、ボくら凡人には及びもつかない天才だったようです。それで、文字も人に解らないように鏡文字といって裏返しにして書いていましたし、あのモナリザだって、とっても不思議な微笑みです。ボクには何回見ても微笑みというより、なんか冷たい目で見透かされているようにしか思えません。一体、どういう意図でダ・ヴィンチはモナリザを描いたのでしょか。また、「洗礼者ヨハネ」という絵があります。このヨハネという人は聖書の中では、若きイエスに洗礼をした人として登場します。つまり、イエスの師匠にあたる人になります。このヨハネも見てると一体男か女かわからないですし、不思議な眼差しをしています。とっても不思議な絵です。ボクは「モナリザ」より「洗礼者ヨハネ」の方がとっても気になります。是非死ぬまでに一度、本物の絵にお目にかかりたいのですが。

またもう一つ。ダ・ヴィンチ・コードの中で重要な役割をする絵があります。「最後の晩餐」です。おそらくこの絵を知らない人はいないと思ひます。でもその割にはボクは、今までシゲシゲとこの絵を見たことはありませんでした。それが今度じっくり見てみると、不思議な部分があるのです。これは、小説のストーリーとはあまり関係ないのですが、真ん中あたりに、ナイフを持った人の手があるのです。しかもそれは、誰の手でもないのです。誰かが後ろで隠れていて手だけ出した。そんな感じです。ダ・ヴィンチが例によって凡人には解らないように、何かの暗号をその中に込めたのでしょうか？また、よく見るとイエスの顔がなぜかとてもしょぼく見えます。もっと威厳を持たせて描いてもいいような気もしました。これも何か深い意味があるかも知れません。

とにかく映画「ダ・ヴィンチ・コード」は楽しみにしています。トム・ハンクスがどんな演技をしてくれるのかな。でも、おそらく見終わったら小説の方が何倍も面白かった、と思うでしょう。



いえはら歯科



いえはら歯科
院長 家原 猛



がいなフォーラムの盛り上がり、今年の桜はいくらか控えめだったろうか。例年以上の花冷えのせい？いや、しっかり咲いていました。

そして、地面に落ちた花びらが春風に舞う頃になり、枝の先には若葉が芽を吹き、生き生きとした爽やかな緑に目を惹かれる。

陽光を浴び、日に日に葉は緑を濃くし、どんどん大きく広がる。風も肌に微温くなり、色とりどりの花の季節となる。薫風、まさに季節はもうすぐ初夏である。一年中で最も心地よい時期、大好きである。

休日には、少しゆったりとした時間を過ごそう。音楽などを相伴に、外に出ることにしよう。青葉をやさしく揺らす、緩い風に、ここ数年お気に入りの、ボサノヴァが良く合う。

ボサノヴァ (Bossa Nova) は、1958 年、ジョアン・ジルベルト (歌とギター) とアントニオ・カルロス・ジョビン (作曲) が作った、「想いあふれて」というレコードによって誕生した、とされている。

サンバを始めとする様々なブラジル音楽やジャズ等のポピュラー音楽の中から紡ぎ出されたボサノヴァは、どこか控えめで、程よい温度で揺れる。

サンバの熱気とは違う、何か過ぎた冷静さ、落ち着きのようなものを感じる。移民国家・格差社会ブラジルの光と影、日常の生活の中から生まれた歌に郷愁 (サウダージ) と切なさが明るく滲む。軽快な 3-2 などのラテンのリズムはとても心地よい。

心許せる 5 月の休日、是非、天気の良い日に庭に椅子でも出して、肌風に感じながら、「ボサノヴァ」に耳を傾けてみては、いかがだろうか。

ついでに、ブラジルの国旗のお話し。

アマゾンの熱帯雨林・農業を表す緑の地に、かつての世界一の金鉱・鉱業を表す黄色の菱形、その中に青色の 1889 年 11 月 15 日共和制宣言時の、リオデジャネイロの天空図、星は州の数だけ描かれている。青色はブラジルの聖人のマントの色。アマゾン河を表す白い帯に「ORDEM E PROGRESSO」秩序と進歩と書かれている。複雑な絵柄の国旗にも、いろいろの思いが込められているのですね。

そして、今年の 6 月にはブラジルを、世界を熱狂させるサッカーの季節がやって来る。それまで、熱冷まし「ボサノヴァ」でも聴いて、少し静かにしていることにしよう。



在宅療養支援診療所が スタートします

今年の 4 月に健康保険制度改正で、在宅医療については大きな改定がなされました。看取りまで含めた在宅医療の充実をめざし、「在宅支援診療所」が新たな制度として設けられました。真誠会も、在宅療養支援診療所としてその機能を果たすことになりました。この「在宅療養支援診療所」というの

は、通院が困難な方で、在宅で療養をされる方を 24 時間支援する診療所です。

医師の往診と、訪問看護サービスにより 24 時間対応が可能です。真誠会では医師 2 名と訪問看護ステーション「ネットケア」が輪番制で対応させていただきます。在宅で療養をされている方、また今後、在宅での療養を希望される方。お気軽にご相談くださいませ。

真誠会セントラルクリニック 医事課 連絡先: (0859) 29-0099



中 下 医 院



トイレの悩みは 生活の質(QOL)に支障をきたします 過活動膀胱症状質問票

中下医院
院長 中下 英之助



トイレが近く、外出の時もつい不安になる。夜中に何回もトイレに起きて安眠できないなどのように、尿意切迫感（急に抑えられないような尿意が起こり我慢できない）と頻尿（目安として昼間は8回以上、夜間は2回以上）、切迫性尿失禁等の蓄尿障害は、日常生活におけるさまざまな活動に支障を生じます。そして、排尿障害は生活の質（QOL）低下をきたす要因のひとつであり、見過ごす事が出来ません。そして高齢になるにつれて、尿が近くなったり、尿の勢いが弱くなるなど、トイレの症状を有する患者さんは増加します。近年では患者さんの自覚症状と QOL が診療を行う上で、治療法の選択や治療の有効性評価において重視されています。

頻尿、尿意切迫感などの自覚症状のある、過活動膀胱患者さんの QOL は種々の領域で健康人に比べて低下しており、糖尿病患者さんと、同等の QOL 障害が見られると報告されています。そのために、日常生活への影響が顕著で、仕事・家事の制限、身体的・社会的活動、心の問題として抑うつ的になり、不安感や神経質になるなどの QOL の障害が見られます。しかし、過活動膀胱に対しては適切な治療により、QOL が改善することが示されています。

過活動膀胱のスクリーニングとして、

- ① 尿をする回数が多い。
- ② 急に尿がしたくなって、我慢が難しいことがある。
- ③ 我慢ができずに尿をもらすことがある。

前記の症状が一つ以上ある人は、過活動膀胱の可能性があり、過活動膀胱症状質問票に進んでください。診断基準は、質問3の尿意切迫感スコアが2点以上で、かつ合計スコアが3点以上です。重傷度判定は、合計スコアが5点以下なら軽症、6 - 11点中等症、12点以上を重症とします。

実際の診療では、問診に続いて、尿検査、超音波検査などの、苦痛を伴わない検査法を行います。治療法は、前立腺疾患や膀胱炎であればその治療を、特発性の場合は薬物療法、生活指導、膀胱訓練、骨盤底筋運動等の治療、指導を行います。

トイレが近くてお困りの方は、お気軽にご相談ください。

過活動膀胱症状質問票（日本排尿機能学会）

以下の症状がどれくらいの頻度でありましたか。この1週間のあなたの状態にもっとも近いものを、ひとつだけ選んで、点数の数字を○で囲んで下さい。

質問	症 状	点数	頻 度
1	朝起きた時から寝る時までに、何回くらい尿をしましたか	0	7回以下
		1	8~14回
		2	15回以上
2	夜寝てから朝起きるまでに、何回くらい尿をするために起きましたか	0	0回
		1	1回
		2	2回
3	急に尿がしたくなり、我慢が難しいことがありましたか	0	なし
		1	週に1回より少ない
		2	週に1回以上
		3	1日1回くらい
		4	1日2~4回
4	急に尿がしたくなり、我慢できずに尿をもらすことがありましたか	0	なし
		1	週に1回より少ない
		2	週に1回以上
		3	1日1回くらい
		4	1日2~4回
	合計点数	5	1日5回以上
		点	

新入社員入社式

真誠会の高い評判が
優秀なスタッフを引き付ける

平成 18 年度は 4 月 1 日、25 名の新入職員を迎えて入社式が行われました。本年度は、看護師 4 名、介護福祉士 10 名、理学療法士 1 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 1 名、支援相談員 3 名、ケアマネージャー 2 名、介護員 1 名、看護学生 1 名が入社しました。

介護保険では、十年一昔と比べて、ますます質の高いケアが求められています。介護福祉士を取得された方の採用が増えてきました。また、理学療法士養成の専門学校が増えてきたのか、以前よりは真誠会への就職希望者が増えております。

他の要因としては、7 年前に比べ真誠会の事業規模が約二倍となり、就労場として安定感の印象を与えたこともあげられます。

中には、真誠会の教育が充実していることを、就職の要因にあげる新入職員もいます。

今後も、真誠会の更なるケア充実のためには、質の高いケアが不可欠です。それを実現するには、職員の教育を充実させ、なるべくたくさんの就職応募者が来るような施設にしたいと思えます。

真誠会のケア、職場環境、人間関係、専門的な教育などの向上が真誠会の評価を上げ、その結果としてたくさんの優秀なスタッフが集まっています。それが、真誠会の更なる向上につながるという、良いサイクルになるように今後とも努力していくつもりです。



地域包括支援センターは地域のネットワークづくり、助けあいのまちづくりを支援します

米子市美保地域包括支援センター

平成 18 年 3 月末日をもって米子市在宅介護支援センター弓浜真誠会は閉鎖となり、平成 18 年 4 月から新しく米子市美保地域包括支援センターとなりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように支援を行う総合機関です。

米子市から委託を受けて、美保中学校区（崎津、大篠津町、和田町）を担当しています。

主任介護支援専門員 小山 雅美（左下）
社会福祉士 陰山 佳代子（右上）
看護師 坂本 真鈴美（左上）
事務 木村 留美子（右下）



米子市弓ヶ浜地域包括支援センター

平成 18 年 3 月末日をもって、米子市在宅介護支援センター米子真誠会は閉鎖となり、平成 18 年 4 月から新しく、米子市弓ヶ浜地域包括支援センターとなりました。

米子市から委託を受けて、弓ヶ浜中学校区（富益町、彦名町、夜見町）を担当しています。

保健師 専田 隆子（左端）
社会福祉士 小坂 一（中央）
主任介護支援専門員 安田 博子（右端）





けんこう倶楽部



真誠会セントラルクリニックでは、平成 18 年 4 月 1 日よりけんこう倶楽部を開始しました。

真誠会では糖尿病、高血圧、肥満、腰痛などの治療をしておりますが、これらの生活習慣病などは単に内服治療だけではなく、食事療法、運動療法が大変効果があります。



医療法人真誠会
けんこう倶楽部

元気に現役 85 運動習慣で防ごう生活習慣病！ ゆうとぴあで無理なく楽しく運動を！

運動は健康を維持・増進するのに欠かせない要素のひとつです！

適応は……

- 脳血管障害（脳卒中）後遺症
- 心臓病
- 整形外科（腰痛、膝関節痛）
- 健康痩身
- 呼吸器疾患
- 生活習慣病
- 糖尿病
- 高血圧
- 肥満
- 健康の維持向上



目的にあった運動プログラムを作成致します。

- ・筋力強化・持久力強化（エアロビクス運動）・腰痛膝痛予防体操・ストレッチ
- ・バランスボール・マット運動・ウォーキング etc...

ご利用時間内であれば好きなときにご利用いただけます。



- 会費制（1 ヲ月 4,000 円税別）
- 場 所／河崎：ゆうとぴあ広場
大崎：弓浜ホスピタウン 2000 年ホール
- ご利用時間 9 時～10 時半・15 時～18 時

お問い合わせ・お申込は 河崎：支援本部受付（☎24-5666）
大崎：弓浜支援部受付（☎48-2331）まで

ゴールデンウィーク企画



ケアハウス「リバーサイド」(大崎)

●屋●外●リ●ハ●ビ●リ●

由志園 ～牡丹見学～

昨夜の雷鳴が嘘のように晴天に恵まれ、大根島の由志園に牡丹の花を見に出かけました。素晴らしい日本庭園の中、例年以上にたくさんの綺麗な大輪の花に囲まれ、人生の至福のひと時を過ごしました。

グループホーム「青松庵」(富益)

青松庵周辺の松林も新緑まぶしく、風さわやかに受けながら、「屋外食事会」を行いました。この日のメニューはカレーライスづくりに全員で分担して調理。昔懐かしい音楽が流れる中で、普段以上に会話も弾み楽しい食事会となりました。



みんなで美味しくいただきました。



柏餅づくりをしました。みんなで作ると楽しいわあ～。

日向ぼっこと庭掃除一汗かいて、休憩、休憩・・・

通所リハビリテーション「真誠会」(河崎)

●調理レクリエーション●

通所リハビリテーション真誠会では、ゴールデンウィークにいらっしゃる皆様に、「来てよかった!」と思っていただけるよう、利用者様とともに参加するデイケアを行ないました。これからも、利用者様主体のデイケアをこころがけたいと思います。

富益しあわせデイサービス(富益)

富益しあわせデイサービスでは、皆様で“おにぎり”と“オードブル”を作り、それを持って“弓ヶ浜公園”に行き、食事会を開きました。心地よい風と陽射しの中での食事は、一段と美味しさが増し、笑顔があふれ、楽しいひとときとなりました。



通所リハビリテーション「ゆうとびあ」(河崎)



「あらー、なつかしいなあ。柏餅のモチは、こげしてこねーだよー」と利用者の皆さんが言い合いながら、ゆうとびあデイケアの中は、和気藹々で手作りの柏餅作りを行いました。

その他ゴールデンウィークのイベント目白押しでみなさん楽しんでいただき、よいリハビリテーションができました。

医療福祉 ホスピタウンネットワーク



ホスピタウン

医療福祉のまち

米子ホスピタウン

- ・真誠会セントラルクリニック(医)29-0099
- ・透析施設オアシス(医)29-1997
- ・通所リハビリテーション真誠会(医)24-6030
- ・介護老人保健施設 ゆうとぴあ(医)24-5666
- ・短期入所療養介護 ゆうとぴあ(医)24-5666
- ・通所リハビリテーション ゆうとぴあ(医)24-5666
- ・訪問看護ステーションネットケア(医)24-6777
- ・居宅介護支援事業所真誠会(医)48-0300
- ・脳活性クラブ米子真誠会(医)24-5984

(童謡の里 オルゴール館)

ホスピタウングループ本部 〒683-0852 米子市河崎581-3 TEL 24-5666



ホスピタウン

いえはら歯科

9:00~12:30/2:30~6:30 TEL29-6599



ホスピタウン

辻田耳鼻咽喉科

9:00~12:30/2:30~6:00 TEL29-1187



ホスピタウン

泌尿器科・皮膚科 中下医院

9:00~12:30/2:30~6:00 TEL24-1727



ホスピタウン

助け合いのまち

小規模多機能センター 真誠会ふる里

〒683-0102 米子市和町1722番地 TEL 25-1112



ホスピタウン

保健福祉のまち

弓浜ホスピタウン

- ・介護老人福祉施設 ピースポート(社)48-2332
- ・短期入所生活介護 ピースポート(社)48-2332
- ・介護老人保健施設 弓浜ゆうとぴあ(医)48-2334
- ・短期入所療養介護 弓浜ゆうとぴあ(医)48-2334
- ・通所リハビリテーション 弓浜ゆうとぴあ(医)48-2334
- ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ(社)48-2337
- ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ(認知症対応型) (社)48-2337 (ふくろうの里)
- ・認知症専門通所介護 弓浜脳活性クラブ(医)48-2339 (若竹庵)
- ・訪問介護 弓浜真誠会(社)48-2336
- ・米子市美保地域包括支援センター 48-2330
- ・ケアプランセンター 弓浜真誠会(社)48-2335
- ・ケアハウス リバーサイド(社)48-2630

〒683-0104 米子市大崎1511番地1 TEL48-2331(代)



ホスピタウン

在宅福祉のまち

在宅福祉センター真誠会

- ・富益しあわせデイサービス米子真誠会(社)25-6811
- ・富益しあわせ認知症デイサービス米子真誠会(社)25-6811 (ダンスダンス)
- ・米子市弓ヶ浜地域包括支援センター 25-6800
- ・グループホーム青松庵(社)25-6813

〒683-0103 米子市富益町235番地8 TEL25-6811(代)

